

“鮮度一番！”

No.189

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / 震災から一家族のあゆみ ひとことコラム
- 2～3 / 運営委員会で話されたこと
- 3 / 編集後記
- 4 / 三条活人「みんくる」

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。
NPOさんじょうでご活躍されている田辺さんからのお便りはじめで、
「はっ、今年も縁起がいいメエ～」

震災から一家族のあゆみ

田辺 保之

2011年3月11日の東日本大震災に伴う東京電力第一原発の事故により、私の住んでいた町は全町民避難になりました。私たち家族6人は南相馬の親戚を頼って向かったところ、そこも避難することになりました。どこへ行ってよいか分からず、南相馬市役所に行き相談すると「まずは石上小学校の体育館に行ってください」と言われ、そこに1回目の避難をしました。4日後の夜、突然、「この避難所は閉鎖します」ということで、南相馬市役所の人から「新潟に避難するか、ガソリン10リットル渡すので自分で逃げるか、そのまま南相馬に残るか」という3つの選択肢を迫られました。

私は家族と相談して「新潟に行く」と決断しました。津波で家も仕事で使っていた船も流され、何もなくなりました。新潟・三条で新しい生活をするのも、自分の中では「人生二度楽しめる」という気持ちでした。そして、ここに住もうと思いました。下の息子は三条小学校に溶け込み、友だちを家に連れて来たり、逆に遊びに出かけたりうまくやっているようで安心しました。しかし、娘2人はなかなか三条の環境に馴染めず苦労していました。娘たちには少しすまないという気持ちもあります。

女性会議さんとの出会いは「女性の下田ツアー」に同行したことが始まりでした。年末の忘年会にも一度参加させていただきました。

今年3月で震災から4年になります。三条市に来たとき3年生だった息子もこの春は中学校に入学します。時の過ぎるのがこんなに早いと感じたことはありません。去年の夏、西大崎の方に中古住宅を購入しました。これからも故郷を忘れず、年3回は福島へ墓参りに行こうと家族で話しています。

今後も皆様にお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

・・・ひとことコラム・・・

丸山 静江

新しい年を迎えて、一週間が過ぎました。365日の1日でしかない正月。この日を迎えると心清められ、何か良いことが起きそうな新年を覚えます。息子夫婦と孫二人の6人家族で、食卓を囲む幸せ。娘夫婦が3人の子供を連れて、正月に来ます。皆して食べる昼食は壮観です。

息子夫婦と同居して、6年目に入りました。少しずつ真の家族になれたような、居心地の良さが感じられます。「おばあちゃんなんか嫌い、あっちへ行け」と孫に言われても平気。すぐ後に「大好き」と、

しがみついてきます。夫との2人暮らしは気楽かもしれないけれど、孫のやんちゃぶりを毎日見られる幸せに変えられません。自分の子供の時は早く大人になってと思いましたが、孫はいつまでも幼いままでいてと思っています。平々凡々の日を過ごしています。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成27年1月7日(水)(AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター

すみません m(._.)m 先月は、予告もなしに運営委員会と会報をお休みしてしまいました。新年、気持ちは新たに、しかし行動はゆる～くなる一方ですので、皆様からの叱咤激励をお願い致します。

次回は、2月4日(水)9:30~男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

1. 防災研修会(11/22)参加報告

昨年行った防災研修会の参加報告を安室久恵さんからいただきました。

1月22日、土曜日の午後、三条市水防学習館(三条防災ステーション内)での防災研修会に参加しました。場所をご存知でしょうか。建物は見えるのですが、辿り着くのに手間取った方が何人かあり(私もその一人です)、案内を分かりやすくとの要望がまず出ました。

テーマは『三条市の防災について』、講師は三条市の防災対策室室長藤井勲さん。平成16年7月13日、平成23年7月29日の二度の水害の当時の気象、災害状況、そして復旧状況などの説明を受けました。水害に対してのさまざまな備えがなされていることが理解できました。展示室にはデータ、写真そして体験コーナーなどがあります。我が家は床下浸水を何度か経験していますが、ちょっとした大雨になると心配が募ります。あの水害を体験された方はさぞ恐ろしかったであろうと改めて思いました。

26年は全国的に自然災害が多かったと感じます。天候の変化が激烈になったとか、あるいは東北の震災が日本の地殻変動に関係しているなどといわれ、いつ、どこでどんな災害に遭うか分かりません。家族、近隣で、いざとなったらどう行動するか確認し合うことが必要だと思います。

一度防災ステーションを訪れてみてください。休館は年末年始だけとのこと。

2. 各種審議会等について

三条市介護保険運営協議会 地域包括支援センター運営部会報告

安室 久恵

第2回地域包括支援センター運営部会が12月22日(月)、市役所大会議室で開かれた。

議題

- (1) 介護予防給付ケアマネジメント業務の委託について
- (2) 平成26年度地域包括支援センターの実施状況について
- (3) 地域包括支援センターの人員配置基準について

(1)、(2)については通常の報告があり、了承された。

(3)は、平成27年度からの介護保険法の一部改正で、地域包括支援センター及び指定介護予防支援事業所の人員等に関する基準について、市町村の条例で定めることが義務付けられたことにより、三条市の独自の基準を定めることとされた。議会で承認され、27年4月1日から施行される。

3. ひとひとフォーラムについて

第10回ひとひとフォーラムの開催要項が届きました。

開催日時は、3月8日(日)午後1:30～、会場は、三条市総合福祉センター、演題は「女性の人権～しなやかに生きる～」、講師は、佐久間レイさん(声優・歌手・脚本家)です。内容は、講演の他にオリジナル脚本の朗読劇やお芝居の世界の体験、参加者全員での合唱等を予定しているそうです。

ネットワーク三条としても協力していきますが、当会は、パネル展示を楽しく作り上げていきたいと思っています。皆様も予定に入れて、是非参加してくださいね！

4. 各種講座のお知らせ

◆新潟経営大学

市島清貴教授の公開講座

☆日 時 **1月26日**(月)18:30～20:00

☆会 場 新潟経営大学

☆テーマ 日本人のコミュニケーション
なぜ伝わらないのか？

☆講 師 市島清貴教授

☆申込お問合せ 新潟経営大学 TEL53-3000

運営委員6名参加予定です～

◆子育てママの社会デビューセミナー

☆日 時 **2月2日**(月)10:00～12:00

☆会 場 三条東公民館

☆テーマ “ママ” だけじゃない、
ワタシ発見

☆講 師 小池由佳さん
(新潟県立大学 准教授)

☆申込先 三条市役所 市民窓口課 市民係
TEL34-5511(内線476)

◆男女共同参画「出前講座」

☆日 時 **2月21日**(土)16:00～18:00

☆会 場 三条東公民館

☆テーマ 心とカラダのセルフメンテナンス～10歳若返る健康法～

☆講 師 ガレージ1 田中里佳さん

☆参加費無料 申込不要(当日会場へおいでください)

☆お問合せ 三条女性会議 野崎ミチコ (TEL080-1042-9788)

講座終了後、近くのお店で新年会を行います～。



5. その他

米田美智子さんの「さんじょう白熱ひろば」、1月のテーマは、みんなで考えたい「いじめ・うつ・ひきこもり」です。毎月20日午後7時、三条東公民館へどなたでもおいでください。2月か3月に同じテーマでシンポジウムを計画中だそうです。

編集後記：

誌面の都合でちょこっと場所替えです。年が改まり新鮮な気持ちで臨んだ鮮度一番、中身の濃い4ページになりました。どうぞ隅から隅までお読みください。(原)

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>

三条活人「みんくる」

今回の「三条活人」はみんくるでマネージャーと子育てをしている石本史子さん取材しました。



プロフィール

石本史子
三条市本町出身、大学で上京、東京で就職。その後、三条でリターン就職。
独身時の趣味は、美術館鑑賞やイタリア語。イタリアへ多数、旅行。
みんくるの立上げ時から関わり、現在マネージャー。
最近の趣味は「子育て」と「仕事」！

◆みんくるの紹介◆

家みたいな居心地の良さで子供連れのママが買い物や喫茶も楽しみ、おむつ交換もできます。イベントも適時開催しており、遠くに行けないママが子連れで地元で気軽に楽しめる空間作りを心がけております。地域の休憩所として散歩の途中などにもお気軽に立ち寄って下さい。

WiFi完備。お店を始めたい方へ、飲食と物販のチャレンジショップができます。お問い合わせ下さい。



NEW

みんくるでは恋届を始めました！
2月くらいまでイルミネーションが飾ってありますので、ぜひお越しください。

お問い合わせ

電話：0256-55-1162

営業時間と定休日

◆営業時間◆

・10:00 ~ 20:00

◆定休日◆

木曜日、年末年始（12月29日～1月3日）



~~~~~取材感想~~~~~

今回は三条市の一ノ木戸商店街でチャレンジショップをしている「みんくる」の取材をしました。館内の手前が昭和初期の木造建築で奥に大正時代に建てられた赤レンガ造りの飲食店となっており、外観からは想像ができないオシャレな作りで、入っていいのか躊躇しました。また、イベントも歌声喫茶や昔のゲーム大会、ライブや健康麻雀など年代を問わずに楽しめる内容で、三条市内でもかなり充実した内容のイベントを開催していました。みんくるは商店街情報やイベント情報も満載の「まんなか」情報誌も発行しています。（hiroshi）